

## しあわせ信州創造プラン 2.0 の政策評価について

### ≪課題≫

#### 【現行制度の課題】

- ①数値目標の評価・分析を予算等に反映するまでに2年程度の時差が存在  
例：今回であれば、H29年度の実績をH30年度の夏に評価分析し、H31年度予算へ反映
- ②実績値を毎年の目安値と比較して評価するため、最終目標との関係が見えにくい。
- ③毎年度の実績値が捕捉できない指標がある。  
原則、毎年実績値が出る指標を採用 ≪計画策定時に対応済み≫
- ④個別の指標の分析に留まり、施策に対する総合的な評価が行われていない。

#### 【プラン 2.0 での新たな課題】

- ⑤SDGs への取組状況をどう評価するか。
- ⑥地域計画の評価方法
- ⑦チャレンジプロジェクトの進捗管理

#### (政策評価制度の主な目的について)

- ・計画の着実な推進のための進捗管理
- ・将来に向けた施策・事業の構築や改善 (PDCA, EBPM の強化)
- ・しあわせ信州創造プラン 2.0 に沿った取組やその成果の発信

＜総合計画審議会で議論していただきたい論点＞

○資料3に掲げた課題について、どのような視点で検討すべきか。

特に

- ①より直近の評価を、施策に反映するためにはどのような仕組みとすべきか。
- ②毎年度の実績値を目安値と比較する以外の評価方法（現行の評価）はないか。

などについてご意見を伺いたい。

○そのほかに課題はあるか。